

経営概論

(授業概要)

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていくうえで直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

科	生命科学科	教員	津田
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

後期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

授業計画

- 1回 経営戦略について
- 2回 経営戦略（経営理念、企業のこだわり、理念と戦略）
- 3回 経営戦略（経営理念、理念と業務、理念と優先順位）
- 4回 経営戦略（環境分析、マクロ環境とミクロ環境、日本特有の環境）
- 5回 経営戦略（環境分析、SWOT 分析）
- 6回 成長戦略（成長ベクトル、企業成長の過程）
- 7回 成長戦略（多角化戦略、さらなる成長のために）
- 8回 成長戦略（事業ポートフォリオ、事業と資金の循環）
- 9回 成長戦略（事業ポートフォリオ、経験の成果と製品の循環）
- 10回 成長戦略（内部成長方式と外部成長方式、自己成長、提携）
- 11回 売上管理（数学）
- 12回 売上管理（数学）
- 13回 売上管理（数学）
- 14回 前期期末試験の対策
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験の結果発表
- 17回 前期の振り返り
- 18回 マーケティングについて

- 19回 マーケティングと販売の違い
- 20回 一般的なマーケティングの流れ
- 21回 マーケティング (STP 分析)
- 22回 マーケティング (水平思考)
- 23回 グループディスカッション
- 24回 グループディスカッション
- 25回 マーケティング (顧客価値について)
- 26回 マーケティング (4P について)
- 27回 マーケティング (バリュープロポジションについて)
- 28回 マーケティング (普及率 16% について)
- 29回 グループディスカッション
- 30回 グループディスカッション
- 31回 グループディスカッション
- 32回 後期期末試験の対策
- 33回 後期期末試験
- 34回 後期期末試験の結果発表
- 35回 1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学・グループディスカッション

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20% (出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学 II

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ

科	生命科学科	教員	寺鼻 友美
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。最低限の応急処置、対応ができること、それに加え予防策、接し方を習得する。実際の症例課題を与え、問題点、応急処置対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

後期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し最終形態である「死」についても理解を深める。

授業計画

- 1回 授業について エマージェンシーとは
- 2回 状態確認の方法
- 3回 外科の応急処置 応急処置 出血①
- 4回 応急処置 出血②
- 5回 応急処置 やけど①
- 6回 応急処置 やけど②
- 7回 応急処置 熱中症①
- 8回 応急処置 熱中症②
- 9回 応急処置 ショック①
- 10回 応急処置 ショック②
- 11回 応急処置 ショック③
- 12回 応急処置 骨折①
- 13回 応急処置 骨折②
- 14回 実習
- 15回 実習
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却
- 18回 応急処置 眼球突出①
- 19回 応急処置 眼球突出②

- 20回 応急処置 けいれん発作①
- 21回 応急処置 けいれん方法②
- 22回 応急処置 感電
- 23回 応急処置 窒息
- 24回 応急処置 誤食①
- 25回 応急処置 誤食②
- 26回 応急処置 中毒①
- 27回 応急処置 中毒②
- 28回 グリーフケア①
- 29回 グリーフケア②
- 30回 老齢動物の飼育管理
- 31回 若齢動物の飼育管理
- 32回 安楽死 エンゼルケア
- 33回 安楽死 エンゼルケア
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅっせきりつ 平常点 20% (じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり (動物看護師)

就職演習

(授業概要)

- ・それぞれの目指す就職先への到達を目指す。
- ・就職活動において必要な知識、スキルを身につける。
- ・社会に出た際に必要となるマナーを身につける。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

- ・自分を知り、就職のビジョンを明確にする。
- ・自己アピール力を高める。

後期

- ・グループでの話し合い方について学ぶ。
- ・社会人として求められる一般常識を身に付ける。

授業計画

- 1回 就職への道
- 2回 自己分析①
- 3回 価値観①
- 4回 価値観②
- 5回 求めるもの①
- 6回 求めるもの②
- 7回 自己分析②
- 8回 自己アピール力・他己分析
- 9回 強みとスキル
- 10回 応募書類・書類審査について
- 11回 自己PR作成①
- 12回 自己PR作成②
- 13回 志望動機の書き方
- 14回 履歴書のポイント・職務経歴書について
- 15回 挨拶状のポイント・前期振り返り
- 16回 前期期末試験（実施）
- 17回 前期期末試験（返却・解説）
- 18回 就活進捗状況確認①
- 19回 就活進捗状況確認②
- 20回 面接①

- 21回 面接②
- 22回 面接③
- 23回 グループディスカッション①
- 24回 化粧について
- 25回 グループディスカッション②
- 26回 会社に求められる能力
- 27回 ビジネスマナー ～社会人になったら～①
- 28回 ビジネスマナー ～社会人になったら～②
- 29回 ビジネスマナー ～社会人になったら～③
- 30回 近況報告書①
- 31回 近況報告書②
- 32回 ビジネスマナー・一般常識①
- 33回 ビジネスマナー・一般常識②
- 34回 後期期末試験（実施）
- 35回 後期期末試験（返却・解説）

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物関連法規学 II

(授業概要)

主に飼い主や所有者として知っておくべき動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

動物の法的立場や飼い主の責任について理解していく。

後期

マンションにおけるペット問題、動物の譲渡等においてトラブルに巻き込まれないために実例などを元に理解していく。

授業計画

- 1回 動物の法的立場 (1) 法律における動物の位置づけ
- 2回 動物の法的立場 (2) 動物に財産を残す場合 その1
- 3回 動物の法的立場 (3) 動物に財産を残す場合 その2
- 4回 動物の法的立場 (4) 保護動物を飼育する場合 その1
- 5回 動物の法的立場 (5) 保護動物を飼育する場合 その2
- 6回 飼い主の法的責任 (1) 民法第718条について その1
- 7回 飼い主の法的責任 (2) 民法第718条について その2
- 8回 飼い主の法的責任 (3) 実例を元に考える その1
- 9回 飼い主の法的責任 (4) 実例を元に考える その2
- 10回 飼い主の法的責任 (5) 実例を元に考える その3
- 11回 マンションにおけるペット問題 (1) 管理規約とは
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 マンションにおけるペット問題 (2) 使用細則とは
- 15回 マンションにおけるペット問題 (3) ペット可のマンションについて
- 16回 マンションにおけるペット問題 (4) ペット不可のマンションについて
- 17回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (1) 寄託契約その1
- 18回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (2) 寄託契約その2
- 19回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (3) 寄託契約に関する実例
- 20回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (1) 贈与契約その1
- 21回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (2) 贈与契約その2
- 22回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (3) 贈与契約その3
- 23回 身体障害者補助犬法 (1) 法の概要
- 24回 身体障害者補助犬法 (2) 身体障害者補助犬の定義

- 25回 身体障害者補助犬法（3）アクセスの保証その1
- 26回 身体障害者補助犬法（4）アクセスの保証その2
- 27回 後期期末試験
- 28回 後期期末試験返却
- 29回 獣医師法と愛玩動物看護師法（1）法の概要
- 30回 獣医師法と愛玩動物看護師法（2）診療行為とは何か
- 31回 獣医師法と愛玩動物看護師法（3）トリマーやトレーナーが行える行為など
- 32回 鳥獣保護法（1）身近な動物の規制について その1
- 33回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その2
- 34回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その3
- 35回 2年総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

トレーニングケアゼミ演習

(授業概要)

特別講義や業界研究の機会をとおして、自分が目指す職業理解を深める。また、自分を見つめなおすことで自分を客観視することができ、面接等にも役立てるような内容

科	生命科学科	教員	高山・稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

トレーニング概論・実習の概論部分の補填。

就職に向けて、専門学校の特徴は何か、授業がなんのためにあるのか、自分はどのような人間か、自分が目指す企業はどんな企業かを調べ、理解し、話せるようになる。

後期

トレーニング概論・実習の概論部分の補填。

動物や自分の研究したことを人に伝えるということを意識して、グループごとに調べて人前で話す。

授業計画

- 1回 トレーニング概論講義/専門学校の特徴を知ろう/授業を知ろう
- 2回 トレーニング概論講義/自分を知ろう
- 3回 トレーニング概論講義/自分を知ろう
- 4回 トレーニング概論講義/業界を知ろう
- 5回 トレーニング概論講義/職業を知ろう
- 6回 トレーニング概論講義/企業を知ろう
- 7回 トレーニング概論講義/履歴書を作ろう
- 8回 トレーニング概論講義/履歴書を作ろう
- 9回 トレーニング概論講義/履歴書を作ろう
- 10回 トレーニング概論講義/面接練習
- 11回 トレーニング概論講義/面接練習
- 12回 トレーニング概論講義/面接練習
- 13回 トレーニング概論講義/面接練習
- 14回 自主学習日(課題)/前期振り返り
- 15回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて
- 16回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて・前期期末試験
- 17回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて・前期期末試験
- 18回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて
- 19回 トレーニング概論講義/自分が目指す職業について知る
- 20回 トレーニング概論講義/自分が目指す職業について知る

- 21回 トレーニング概論講義/動物特徴発表準備
- 22回 トレーニング概論講義/動物特徴発表準備
- 23回 トレーニング概論講義/動物特徴発表準備
- 24回 トレーニング概論講義/動物特徴発表準備
- 25回 トレーニング概論講義/動物特徴発表準備
- 26回 トレーニング概論講義/動物特徴発表
- 27回 トレーニング概論講義/動物特徴発表
- 28回 トレーニング概論講義/動物特徴発表
- 29回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて
- 30回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて
- 31回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて
- 32回 トレーニング概論講義/卒業研究発表に向けて
- 33回 トレーニング概論講義/2年間振り返り/自分の夢について・後期期末試験
- 34回 トレーニング概論講義/卒業にあたっての決意表明・後期期末試験
- 35回 トレーニンググループ掃除

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義・グループディスカッション・実習・研究と発表準備

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

グルーミング概論・実習 II

(授業概要)

犬のグルーミング技術を身に付ける

中型犬、大型犬もこなし、大きい犬の扱い方を身につける

周りに気を配りながら行動できる人材の育成

科	生命科学科	教員	草刈 祐子
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×6 コマ

目標

前期

犬に負担がかからないようにグルーミングが出来るスキルを習得

中型犬・大型犬・動き回る犬の保定が出来るようになる

後期

1人で1頭仕上げる事が出来るようになる

グルーミングマスターライセンス取得を目指す

(チワワ 100分・ダックスフンド、パピヨン 115分以内)

授業計画

- 1回 グルーミング実習 (2人で1頭)
- 2回 グルーミング実習 (2人で1頭)
- 3回 グルーミング実習 (2人で1頭)
- 4回 グルーミング実習 (2人で1頭)
- 5回 グルーミング実習 (2人で1頭)
- 6回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 7回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 8回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 9回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 10回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 11回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 12回 前期期末試験期間 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 13回 前期期末試験期間 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 14回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 15回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 16回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 17回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 18回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 19回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 20回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識

- 21回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
22回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
23回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
24回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
25回 グルーミング実習・ライセンス試験 (2週に分けて実施)
26回 グルーミング実習・ライセンス試験 (2週に分けて実施)
27回 グルーミング実習 (1人で1頭)
28回 グルーミング実習 (1人で1頭)
29回 グルーミング実習 (1人で1頭)
30回 グルーミング実習 (1人で1頭)
31回 グルーミング実習 (1人で1頭)
32回 グルーミング実習 (1人で1頭)
34回 グルーミング実習 (1人で1頭)
35回 グルーミング実習 (1人で1頭)

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

ブリーダー犬・一般犬を用いての実技実習

きょうざい
教材

グルーミング用品

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがいのうがくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

アニマルケア概論

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

科	生命科学科	教員	荻野
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定1級合格を合格できるようになる。

後期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できる。

授業計画

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」 1 動物を飼う 「予防編」
- 2回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」 まとめ
- 3回 2 ペットとストレス 3・4 ストレスの原因
- 4回 5 アロマセラピー 6 精油とは
- 5回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 6回 9・10 精油の抽出方法 11・12 においと嗅覚
- 7回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 8回 16 アロマセラピーと基材
- 9回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 10回 30 種類の精油について
- 11回 アロマ検定1級模擬テスト
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 前期締め授業
- 15回 ホリスティックマッサージとは
- 16回 ①なでる 手法実技
- 17回 ②たたく 手法実技
- 18回 ③引っ張る 手法実技
- 19回 ④揺らす 手法実技

- 20回 ⑤もむ 手法実技
- 21回 ⑥押しまわす 手法実技
- 22回 ⑦手を当てる 手法実技
- 23回 応用編
- 24回 応用編
- 25回 技術確認
- 26回 実技テスト
- 27回 実技テスト
- 28回 実技テスト
- 29回 実技テスト
- 30回 食事栄養管理について①
- 31回 食事栄養管理 実習
- 32回 食事栄養管理について②
- 33回 後期期末試験
- 34回 後期期末試験返却
- 35回 肉球クリーム作り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、演習、グループワーク

きょうざい
教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10枚 精油一覧表

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

株式会社 IK 工業ペット事業部 D-HAB 経営

老齡犬ケア概論

(授業概要)

老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	生命科学科	教員	稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

老齡犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものをイメージできるようになる。

後期

老齡犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

授業計画

- 1回 授業の説明、老齡犬について①
- 2回 老齡犬について②、老齡犬の身体的トラブル①
- 3回 老齡犬の身体的トラブル②
- 4回 老齡犬の身体的トラブル③
- 5回 老齡犬の身体的トラブル④
- 6回 老齡犬の身体的トラブル⑤
- 7回 老齡犬の身体的トラブル⑥
- 8回 老齡犬の身体的トラブル⑦
- 9回 老齡犬の身体的トラブル⑧
- 10回 老齡犬の身体的トラブル⑨
- 11回 老齡犬の身体的トラブル⑩
- 12回 介護①
- 13回 介護②
- 14回 介護③
- 15回 介護④
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験
- 18回 介護⑤
- 19回 介護⑥
- 20回 介護⑦
- 21回 介護⑧

- 21回 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育を効果的に実地するには①
- 22回 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育を効果的に実地するには②
- 23回 学校飼育動物の目的や実際、愛玩動物看護師の関わり
- 24回 エキスポに参加した動物たちについて考える
- 26回 動物虐待の定義と背景
- 26回 動物虐待への対処
- 27回 動物虐待の現状と法規制
- 28回 多頭飼育崩壊(アニマル・ホーディング)の定義と背景
- 29回 愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵①
- 30回 愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵②
- 31回 加齢による飼育困難
- 32回 Veterinary Social Work と動物看護師
- 33回 後期期末試験範囲のまとめ
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4 巻、資料動画

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

日常での動物と接するときに日々考えてもらう

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり(動物看護師)

コンパニオンキャットⅡ

(授業概要)

猫のカラー遺伝について

正しいブリーディングを行うための遺伝・病気・ケアなど、

飼い主に伝えることができ利用になる為

科	生命科学科	教員	上田阿由美
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

ブリーディングをするのに、正しい知識を学ぶ

(血液・遺伝病を含む)

スタンダード

後期

子猫の育児 (保護した子猫含む)

人工哺乳・離乳・性格矯正

老猫のケア

高齢期の猫の病気

スタンダード

授業計画

- 1回 猫の血液型
- 2回 猫新生児溶血性黄疸 (FNI) ①
- 3回 猫新生児溶血性黄疸 (FNI) ②
- 4回 猫のカラー①
- 5回 猫のカラー②
- 6回 猫のカラー③
- 7回 猫のカラー④
- 8回 ブリーディング① (正しい目的で行う為に)
- 9回 ブリーディング② (交配の方法・注意)
- 10回 ブリーディング③ (受胎確認・受精)
- 11回 ブリーディング④ (妊娠中のケア①)
- 12回 ブリーディング⑤ (妊娠中のケア②)
- 13回 ブリーディング⑥ (出産前の母猫の変化ケア)
- 14回 ブリーディング⑦ (産後のトラブル・ケア)
- 15回 前期期末試験
- 16回 テスト返却 (不理解部分の説明)
- 17回 後期に向かったの注意、まとめ

- 1 8回 ブリーディング⑧ (人工哺乳)
- 1 9回 ブリーディング⑨ (人工哺乳)
- 2 0回 ブリーディング⑩ (離乳)
- 2 1回 ブリーディング⑪ (性格矯正)
- 2 2回 血統書①
- 2 3回 血統書②
- 2 4回 老猫のケア①
- 2 5回 老猫のケア②
- 2 6回 老猫のケア③
- 2 7回 老猫の病気 ①
- 2 8回 老猫の病気 ②
- 2 9回 老猫の病気 ③
- 3 0回 猫の病気のまとめ
- 3 1回 スタндарт
- 3 2回 スタндарт
- 3 3回 後期期末試験
- 3 4回 テスト返却 (不理解部分の説明)
- 3 5回 2年間の総まとめ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学

きょうざい
教材

CFA 公認猫種カラーコピー・「猫の教科書」 ペットライフ社

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、平常点 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

機会があればキャットショー見学

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

CFA (キャットファンシャーズアソシエーション U.S.A) 公認 オールブリードジャッジ

動物行動学

(授業概要)

動物を扱う職業にとって不可欠である動物の行動・心理とコミュニケーションについて学ぶ。また行動を導くための学習理論について理解を深め、近年問題意識が高まっている犬と猫の問題行動について詳しく学び、その予防や初期対応を考える。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	中野 あや
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

- ・動物行動学の基礎として、維持行動、社会行動などの行動の発現と発達について理解する
- ・犬と猫のコミュニケーション方法とその意味、発達について理解する

後期

- ・行動を導くための学習理論について理解する
- ・犬と猫の問題行動についての基礎を学び、臨床でよく出会う問題行動について理解を深める

授業計画

- 1回 動物行動学とは・総論・5つの自由
- 2回 猫のコミュニケーション・猫の行動観察（猫使用）
- 3回 犬のコミュニケーション・犬の行動観察（犬使用）
- 4回 動物行動学の歴史、ダーウィンとローレンツ
- 5回 行動の進化と適応・家畜化
- 6回 維持行動
- 7回 前期前半まとめ、復習
- 8回 社会行動：親和行動・敵対行動
- 9回 情動と動機づけ
- 10回 行動に影響を与える要因
- 11回 行動の発達と社会化期
- 12回 社会化期をもっと知る
- 13回 学習理論①馴化・感作と脱感作・般化
- 14回 5つの自由(復習)、動物園動物の行動学
- 15回 前期まとめ、復習
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却、解答
- 18回 学習理論②古典的条件づけ

- 19回 学習理論③オペラント条件づけ
- 20回 学習理論④強化・消去・行動形成
- 21回 学習理論について復習
- 22回 問題行動とは
- 23回 後期前半まとめ、復習
- 24回 行動診療、正の罰について
- 25回 問題行動①犬猫の排泄トラブル
- 26回 問題行動②犬猫の不安障害
- 27回 問題行動③犬猫の攻撃行動
- 28回 問題行動（復習）
- 29回 問題行動④犬猫の転位行動・常同行動
- 30回 問題行動の予防と快適な環境
- 31回 問題行動⑤若い犬猫の問題行動
- 32回 問題行動ケーススタディ
- 33回 後期のまとめ、復習
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却、解答

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

講義資料、犬猫の動画、生体の観察

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅっせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

参考図書を紹介、休憩時間の質問対応

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物愛護推進活動

(授業概要)

動物愛護に関する事柄、ペットとの暮らしと社会貢献及び社会問題の解決（SDGS）を目標に
実習・校外実習、セミナー開催などを通じて学ぶ。チームで目標達成の計画・実行・発表を行い、企
業や行政との関係性を深め社会貢献できる人材の育成を行う。

○動物愛護に関する小学校出張授業

○私とペットを守る 災害に備える同行避難について

か 科	生命科学科	きょういん 教員	荻野 直美
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×5 コマ

目標

前期

6月末 小学校へ訪問授業（動物愛護、動物を知る をテーマに 45 分間のセミナー）

●チームで協力すること、報連相の徹底、人前で話すことに慣れる

後期

10月中 KAP 全学生への訪問授業を行う※要相談 学園祭での活動

（私とペットの防災について 50 分間のセミナー）

11月中 一般の飼い主様向けのセミナーを開催

●動物愛護に関する社会貢献へのアプローチ方法を学ぶ

1月中 卒業研修課題

授業計画

1回 自己紹介、年間授業計画の伝達と計画、小学校訪問への計画

2回 小学校訪問授業 チーム分け、リーダー決定 （4 チーム）タイムラインの作成

3回 授業制作開始①

4回 授業制作開始②

5回 授業制作開始③

6回 授業制作開始④

7回 授業制作開始⑤

8回 全体通し練習開始

9回 全体通し練習開始

10回 本番※予定

11回 小学校訪問の反省、課題提出

12回 夏休み期間の課題とミーティング計画

13回 わんにゃん防災資格講座 FSP

14回 成功塾

15回 テスト期間 チーム分け、防災について考える タイムラインの作成

16回 チームごとの役割を決める

17回	制作①
18回	制作②
19回	制作③ 学園祭について
20回	制作④
21回	学園祭予行演習
22回	学園祭反省会 制作
23回	制作⑤
24回	制作⑥
25回	通し練習①
26回	通し練習②
27回	本番※予定
28回	本番※予定
29回	卒業研究課題 決定
30回	卒業研究制作①
31回	卒業研究制作②
32回	卒業研究制作③
33回	卒業研究制作④
34回	卒業研究通し練習
35回	生活発表及びセミナー課題提出
36回	後期締め授業 全体ミーティング

<small>じゅぎょう ほうほう</small> 授業の方法
講義、演習、校外実習、グループワーク、プレゼン、セミナー

<small>きょうざい</small> 教材
随時配布

<small>ひょうか ほうほう</small> 評価の方法
<small>きまつしけん</small> 期末試験80%、出席率 20% 前期レポート、後期レポート提出

<small>じゅぎょうがい がくしゅうほうほう</small> 授業外での学習方法
夏季休暇中
班に分かれて、課題をまとめる。ミーティングは zoom を使用

<small>けいけん じゅぎょうか もく かんけい</small> 経験と授業科目の関係
あり

トレーニング概論・実習 II

(授業概要)

犬学 家庭犬のしつけ

犬との生活に必要なルールやマナーの構築

科	生命科学科	教員	高山美左
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×6 コマ

目標

前期

人と犬との生活について必要なハウスマナーの構築、教え方を理解する

後期

人と犬との暮らしの QOL を考え、クライアントに提供する知識、技術を得る

授業計画

- 1回 実習の諸注意の確認、犬の散歩等の管理と取り扱いの確認、班分け、担当犬決め
- 2回 犬のボディランゲージ、ストレスサイン、カーミングシグナルの確認
- 3回 人と犬との生活について、リードプログラムの確認
- 4回 トレーニングに必要な犬具の扱い方について
- 5回 家庭犬に必要な基本動作の教え方
- 6回 犬の行動と学習原理
- 7回 犬の学習とは
- 8回 拮抗条件付けとオペラント条件付け
- 9回 行動の強化と消去
- 10回 行動の般化と状況学習
- 11回 正の強化とトレーニングの概念
- 12回 強化の法則と強化スケジュール/強化子とは
- 13回 二次性強化子とは
- 14回 フリーシェイピングとは
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験
- 17回 テスト返し
- 18回 様々なドッグスポーツについて

- 19回 アジリティ
- 20回 アジリティ
- 21回 アジリティ・フリースタイル
- 22回 フリースタイル
- 23回 フリースタイル
- 24回 問題行動の予防
- 25回 問題行動の修正について1
- 26回 問題行動の修正について2
- 27回 問題行動の修正について3
- 28回 問題行動の修正についてクラスセッション
- 29回 犬の健康と行動の関係
- 30回 犬のボディコンディショニング
- 31回 犬のシニア期にける行動の変化1
- 32回 犬のQRL
- 33回 後期期末試験
- 34回 後期期末試験
- 35回 マナーハンドラーテスト

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学 実技実習

きょうざい
教材

テキスト、DVD、犬具、トレーニング用具等

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

実習犬の散歩等を通しての犬の管理や取り扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

接客実践

(授業概要)

- ・接客をするために必要な知識・技術を身につける。
- ・独立をした時や就職したときの戦力になることを目指す。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

- ・人と接する中で意識すべきことを知り、接客に役立てる。
- ・売り場を知り、効果的な販売を知る

後期

- ・POPについて理解し、活用できるようになる。
- ・イベント企画の流れを知る。

授業計画

- 1 回 フォトブース作成 (春)
- 2 回 授業の説明・導入
- 3 回 接客とは (人と接するということ)
- 4 回 第一印象
- 5 回 人の表情
- 6 回 人のカーミングシグナルから読み取る相手の気持ち
- 7 回 しょっぴい (売り場を見る) お客様の目線
- 8 回 グループワーク (しょっぴいを見て)
- 9 回 色が与える印象
- 10 回 人の脳と接客の関係
- 11 回 売場作成について (配置・並べ方)
- 12 回 販売のコツ・声かけ・呼び込み・ピラ配り
- 13 回 店内での受付
- 14 回 電話での予約受付・電話での案内
- 15 回 後期振り返り・試験前対策
- 16 回 前期期末試験 (実施)
- 17 回 前期期末試験 (返却・解説)
- 18 回 商品仕入れの流れと接客
- 19 回 しょっぴい (売り場を見る) 店員の目線
- 20 回 年間行事・効果的なセールの開催法

- 21回 商品の魅力
- 22回 POP とは
- 23回 POP (文字練習) ①
- 24回 POP (文字練習) ②
- 25回 POP (作成のコツ)
- 26回 POP 作成①
- 27回 フォトブース作成 (冬)
- 28回 POP 作成②
- 29回 効果的なイベント開催法①
- 30回 効果的なイベント開催法②
- 31回 効果的なイベント開催法③
- 32回 悪徳な販売事例
- 33回 リピーター・新規
- 34回 後期期末試験 (実施)
- 35回 後期期末試験 (返却・解説)

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物人間関係学

(授業概要)

人と動物の関係について、その歴史と現在の状況について学ぶ。動物と暮らすことの恩恵、適切に関わるための知識（人と動物の福祉、動物介在介入、虐待等）についての理解を深め、ドッグトレーナーを目指す人として社会の人々を支援できる力を育てる。

か科	生命科学科	きょういん 教員	寺鼻 友美
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

人と動物の関わり方の歴史と現在の状況について学び、ペットが人に与える影響について理解する。
日本と欧米の動物の在り方について、その違いを説明できるようになる。

後期

動物介在介入について理解し、動物福祉の観点から活動を評価できるようになる。
人と動物の福祉の観点について学び、適正飼育や虐待についての知識を深める。

授業計画

- 1回 人と動物の関係学：ガイダンス
- 2回 人と動物の関わり
- 3回 人はなぜペットを飼うのか
- 4回 ペット飼育の歴史と現状
- 5回 ペット飼育 人と動物がともに幸せに暮らすために必要なこと①
- 6回 ペット飼育 人と動物がともに幸せに暮らすために必要なこと②
- 7回 ペットへの愛情と依存①
- 8回 ペットへの愛情と依存②
- 9回 日本と西洋における動物との関わり方の比較
- 10回 ペットロスとは 定義
- 11回 ペットロスの対策
- 12回 文学・芸術における動物：日本
- 13回 日本と西洋における動物との関わり方の比較
- 14回 人の生活に貢献する動物の役割
- 15回 前期期末試験範囲のまとめ
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却
- 18回 動物の飼育と利用の現状①
- 19回 動物の飼育と利用の現状②
- 20回 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義と歴史

- 22回 介護⑨
- 23回 介護⑩
- 24回 介護まとめ
- 25回 自然医学療法
- 26回 老齢犬のオーナーケア①
- 27回 老齢犬のオーナーケア②
- 28回 老齢犬のオーナーケア③
- 29回 老齢犬のオーナーケア④
- 30回 老齢犬のオーナーケア⑤
- 31回 老齢犬のオーナーケア⑥
- 32回 老齢犬のオーナーケア⑦
- 33回 後期期末試験
- 34回 後期期末試験
- 35回 就職したうえでの授業知識の展開

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり